



一般社団法人

日本機械学会

The Japan Society of Mechanical Engineers

関東支部神奈川ブロック

# 2015 年度 年次総集

第 26 回神奈川県産官学交流会

「イノベーション・エコシステムの提言を、神奈川から」

同時開催

神奈川ブロック(第 22 期)総会・表彰式

株式会社 IHI 施設見学会

開催日：2015 年 11 月 20 日(金)

会 場：株式会社 IHI ゲストハウス大ホール

# 2015 年度 日本機械学会関東支部神奈川ブロック 年次総集

## 目 次

### 第 1 章 2015 年度 関東支部神奈川ブロック総会

1.1	神奈川ブロック長あいさつ.....	1-3
1.2	関東支部長あいさつ.....	1-4
1.3	第 22 期(2015 年度)神奈川ブロック商議員 .....	1-5
1.4	第 22 期(2015 年度)神奈川ブロック幹事会委員 .....	1-6
1.5	第 22 期(2015 年度)関東支部役員 .....	1-7
1.6	事業報告および事業計画 (2015 年度中間報告・計画) .....	1-8
1.7	行事概要および報告	
	(1) 第 25 回産官学交流会「『未来』へのものづくりを、神奈川から」 .....	1-9
	(2) 企業見学会「ものづくりを支える神奈川の中小企業」 .....	1-13
	(3) 第 20 回神奈川フォーラム「最先端の燃料電池技術と製品への適用」 .....	1-18
	(4) 小中学生工作教室「スターリングエンジンの製作」 .....	1-21
	(5) 小中高校生のための見学会 「JR東日本 大宮総合車両センター見学と鉄道博物館」 .....	1-24
	(6) 関東支部神奈川ブロック・LAJ 共同企画 「コマツ湘南工場見学および女性技術者との懇談会」 .....	1-28
	(7) 学生会夏期研究会 「日本発条株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会」 .....	1-33
1.8	2015 年度神奈川ブロック表彰者一覧.....	1-35

## 第2章 第26回神奈川県産官学交流会

### 「イノベーション・エコシステムの提言を、神奈川から」

- (1) 「科学技術振興機構（JST）の事業におけるイノベーション・エコシステムの紹介」  
澤田 寿（科学技術振興機構イノベーション拠点推進部） ..... 2-3
- (2) 「イノベーション再考～産学連携でイノベーションを創出できるか？～」  
村富 洋一（横浜国立大学 共同研究推進センター） ..... 2-17
- (3) 「IHI つなぐラボの取り組み ～共想から共創へ～」  
古谷 聡司（株式会社 IHI） ..... 2-30
- (4) 「企業間のアライアンスを考える」  
田中慶一（株式会社ニコン） ..... 2-37

## 第3章 第20回神奈川フォーラム

### 「最先端の燃料電池技術と製品への適用」

- (1) 「神奈川県における水素エネルギーの取り組み」  
村上 剛史（神奈川県産業労働局エネルギー部スマートエネルギー課） ..... 3-3
- (2) 「業務用燃料電池の市場展開」  
吉岡 浩（富士電機（株） 新エネプラント事業部 新エネルギー技術部） ..... 3-7
- (3) 「SOFC-MGT ハイブリッド機の実用化に向けた取り組みについて」  
岸沢 浩（三菱日立パワーシステムズ（株） 燃料電池事業室） ..... 3-11
- (4) 「神奈川県産業技術センターにおける燃料電池の取り組み」  
国松 昌幸（神奈川県産業技術センター化学技術部） ..... 3-16
- (5) 「燃料電池の最大効率点検出（MEPD）法に関する研究」  
板子 一隆（神奈川工科大学電気電子情報工学科） ..... 3-20
- (6) 「日産自動車における燃料電池自動車の開発」  
高市 哲（日産自動車（株） 総合研究所 EV システム研究所） ..... 3-23
- (7) 「先端研究を加速させるニイガタの取り組み」  
牧野 秀介（ニイガタ（株）） ..... 3-29



# 第 1 章

## 2015 年度 関東支部神奈川ブロック総会

1.1	神奈川ブロック長あいさつ .....	1-3
1.2	関東支部長あいさつ .....	1-4
1.3	第 22 期(2015 年度)神奈川ブロック商議員 .....	1-5
1.4	第 22 期(2015 年度)神奈川ブロック幹事会委員 .....	1-6
1.5	第 22 期(2015 年度)関東支部役員 .....	1-7
1.6	事業報告および事業計画 (2015 年度中間報告・計画) .....	1-8
1.7	行事概要および報告	
	(1) 第 25 回産官学交流会 『『未来』へのものづくりを、神奈川から』 .....	1-9
	(2) 企業見学会 「ものづくりを支える神奈川の中小企業」 .....	1-13
	(3) 第 20 回神奈川フォーラム 「最先端の燃料電池技術と製品への適用」 .....	1-18
	(4) 小中学生工作教室 「スターリングエンジンの製作」 .....	1-21
	(5) 小中高校生のための見学会 「JR 東日本 大宮総合車両センター見学と鉄道博物館」 .....	1-24
	(6) 関東支部神奈川ブロック・LAJ 共同企画 「コマツ湘南工場見学および女性技術者との懇談会」 .....	1-28
	(7) 学生会夏期研究会 「日本発条株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会」 .....	1-33
1.8	2015 年度神奈川ブロック表彰者一覧 .....	1-35



## はじめに



日本機械学会関東支部第 22 期  
神奈川ブロック長 澤田 達男

一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロックの会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、神奈川ブロックの活動に対して様々な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私は、辻森前ブロック長の後を引き継ぎ、この3月よりブロック長を務めさせて頂いております。不慣れではございますが、神奈川ブロックの活動をより活性させるべく努力していきたいと考えております。何卒、宜しくお願い致します。

本年も神奈川ブロック総会を迎えることになりました。中心となって活動いただきました幹事会委員の皆様、ご協力・ご支援いただきました商議員、運営会委員の皆様、ブロック行事にご尽力賜りました神奈川県下の産官学各分野の皆様にご感謝申し上げます。

日本機械学会内でブロック制を実施しているのは関東支部のみです。関東支部内でも特に多くの企業が神奈川ブロック内で業務を営んでおり、それが神奈川ブロックの活動の泉源であると思っております。ブロックの活動も活発で、毎年以下のような行事を開催しております。

- 神奈川フォーラム
- 小中高生見学会
- 小中学生工作教室
- 学生研修会
- 産官学交流会
- 企業見学会

特に、子供達への機械工学の啓蒙活動には力を注いでおります。物理・化学とは多少異なるエンジニアリングに子供の時に接する経験は、子供達が科学の別の側面を知るまたとない機会だと思っております。これらの行事は、ブロック内の企業関係者や大学教員・学生の献身的なボランティア精神で成り立っております。紙面を借り、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。今後も、魅力有る行事を立案・実施していく所存ですので、皆様奮って御参加頂ければ幸いです。今後共、神奈川ブロックへの御協力を宜しくお願い致します。

2015年度 神奈川ブロック総会  
第26回 神奈川県産官学交流会の開催にあたって



日本機械学会関東支部  
第22期支部長 佐々木 直哉

この度は、神奈川ブロック第22期総会・第26回産官学交流会の開催、おめでとうございます。産官学交流会も本年度で26回ということで、機械工学分野での産官学の交流におきまして、これまでの継続的かつ精力的な活動に心より感謝申し上げます。

日本機械学会の支部、ブロックは、地域に密着して各地域のリソースを有効に活用することで、学会に所属していない方々や地域の子供たち、小中高生、そのご家族の方々などと機械工学分野の多様な技術を通して交流しています。神奈川ブロックにおかれましても、小中高生見学会、神奈川フォーラム、小中学生工作教室、企業見学会、そして本日の総会、産官学交流会などを実施されており、これらの活動が日本機械学会や関東支部の模範的な基盤となっていると思います。今回の交流会テーマである「エコシステム」はこれから多様な変化が予想される産業体系の構造や経済的関係性にとって大事な概念であり、非常に最新の動向をとらえた視点として、企画の深さに感心する次第であります。

これからも、日本機械学会及び関東支部が社会のなかで確固たる基盤をもって活動するためには、地域の方々の支えが大きな力となると考えられます。ブロック設立から22年目、産官学交流会26回目の節目を迎えられ、今後のますますの活躍に期待しております。

最後になりましたが、神奈川ブロックのご発展と神奈川ブロックの皆様のご健勝を祈念いたしまして、本日のご挨拶とさせていただきます。



日本機械学会 関東支部  
第22期 神奈川ブロック商議員

〔☆：ブロック長〕

No.	氏名	勤務先	職名
1	秋吉 亮	(株) IHI インキュベーションセンター	主幹
2	石上 玄也	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	専任講師
3	市川 和芳	(一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所	上席研究員
4	伊東 弘行	神奈川大学 工学部 機械工学科	准教授
5	伊東 圭昌	神奈川県産業技術センター 機械・材料技術部 機械計測チーム	主任研究員
6	内山 皓	イースタン技研(株)	常勤顧問
7	内山 光夫	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	助教
8	榎本 敦子	(株)日立製作所 横浜研究所 生産技術研究センター 生産システム研究部	研究員
9	大貫 雅和	関東学院大学 工学部 機械工学科	助手
10	大宮 正毅	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	准教授
11	大森 直陸	(株) IHI 基盤技術研究所 機械要素研究部	主任研究員
12	加藤 和弥	湘南工科大学 工学部 機械工学科	准教授
13	金田 徹	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	教授
14	川上 善道	三菱重工業(株) 技術統括本部 横浜研究所 材料・構造研究室	主席研究員
15	菊川 久夫	東海大学 工学部 医用生体工学科	教授
16	小机 わかえ	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	教授
17	酒井 英司	(一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所	主任研究員
18	佐藤 恭一	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	教授
19	☆ 澤田 達男	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	教授
20	信田 昌男	荏原製作所 風水力機械カンパニー 技術生産統括 開発統括部 技術開発室 流体開発グループ	副参事
21	篠塚 淳	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	准教授
22	柴崎 健一	日本精工(株) 基盤技術研究所 機械研究室	室長
23	渋川 直紀	(株)東芝 電力・社会システム技術開発センター 回転機器開発部	部長
24	高野 敦	神奈川大学 工学部 機械工学科	准教授
25	立田 真一	(株)東芝 研究開発センター	研究主幹
26	田中 純夫	明治大学 理工学部 機械情報工学科	専任講師
27	筒井 敬之	防衛大学校 機械工学科	教授
28	中根 一朗	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	准教授
29	南部 俊和	日産自動車(株) 総合研究所 先端材料研究所	主管研究員
30	西田 英一	湘南工科大学 工学部 機械工学科	教授
31	林 光一	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
32	淵脇 大海	横浜国立大学 大学院 工学研究院 システムの創生部門	准教授
33	村田 良美	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
34	森山 裕幸	東海大学 工学部 動力機械工学科	教授
35	柳生 裕聖	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	准教授
36	山田 浩之	三菱電機(株) 鎌倉製作所 宇宙システム第一部 企画管理課	専任
37	横井 健	(株)いすゞ中央研究所 エンジン研究第三部	主任研究員
38	吉岡 勇人	東京工業大学 大学院総合理工学研究科	准教授

日本機械学会 関東支部  
2015年度(第22期) 神奈川ブロック幹事会委員

氏名	勤務先	職名
秋吉 亮	(株) I H I 技術開発本部インキュベーションセンター	主幹
石上 玄也	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	専任講師
市川 和芳	(一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所	上席研究員
伊東 圭昌	神奈川県産業技術センター 機械・材料技術部 機械計測チーム	主任研究員
内山 光夫	関東学院大学 理工学部理工学科機械学系	助教
大谷 利一	日産自動車(株) 総合研究所実験試作部	部長
大谷 俊博	湘南工科大学 工学部機械工学科	教授
大貫 雅和	関東学院大学 工学部機械工学科	助手
尾崎 伸吾	横浜国立大学 大学院工学研究院	准教授
加幡 安雄	(株) 東芝 電力・社会システム技術開発センター 回転機器開発部	主幹
川上 善道	三菱重工業(株) 技術統括本部横浜研究所材料・構造研究室	主席研究員
川島 豪	神奈川工科大学 工学部機械工学科	教授
河西 正彦	イースタン技研(株) 本 社	取締役社長
佐藤 博之	湘南工科大学 大学院 工学研究科 機械工学専攻	准教授
澤田 達男	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	教授
信田 昌男	(株) 荏原製作所 風水力機械カンパニー技術生産統括 開発統括部 技術開発室 流体開発グループ	副参事
清水 明	J F Eエンジニアリング(株) 総合研究所	主幹
田中 慶一	(株) ニコン コアテクノロジーセンター プロセス機器開発部	主任研究員
月舘 隆二	三菱電機(株) 鎌倉製作所 防衛技術部	専任
辻森 淳	関東学院大学 理工学部理工学科機械学系	教授
南部 俊和	日産自動車(株) 総合研究所 先端材料研究所	主管研究員
野々下 知泰	ネポン(株) 営業本部	部長
林 光一	青山学院大学 理工学部機械創造工学科	教授
原村 嘉彦	神奈川大学 工学部機械工学科	教授
深淵 康二	慶應義塾大学 理工学部機械工学科	教授
古市 浩朗	(株) 日立製作所 研究開発グループ生産イノベーションセンタ プロセス研究部	主任研究員
松本 裕昭	横浜国立大学 大学院工学研究院	教授
村田 良美	明治大学 理工学部機械工学科	准教授
森下 達哉	東海大学 工学部動力機械工学科	教授
康井 義明	東海大学	名誉教授
和田 晃	富士電機(株) 川崎工場 回転機部	主査

# 関東支部 第22期 支部役員

〔支部運営会 構成員〕

支 部 長 : 佐々木 直 哉 [(株)日立製作所 技師長]  
副 支 部 長 : 綿 貫 啓 一 [埼玉大学 教授]

## 〔 幹 事 〕

庶 務 幹 事 : 山 浦 弘 [東京工業大学 教授]  
野 村 浩 司 [日本大学 教授]  
広 報 担 当 幹 事 : 柳 生 裕 聖 [関東学院大学 准教授]  
國 枝 正 典 [東京大学 教授]  
事 業 幹 事 : 佐 藤 恭 一 [横浜国立大学 教授]  
井 上 裕 嗣 [東京工業大学 教授]  
学 生 会 担 当 幹 事 : 荻 原 慎 二 [東京理科大学 教授]  
横 田 和 隆 [宇都宮大学 教授]  
会 員 担 当 幹 事 : 角 田 直 人 [首都大学東京 准教授]  
鳥 山 孝 司 [山梨大学 准教授]  
表 彰 担 当 幹 事 : 中 垣 隆 雄 [早稲田大学 教授]  
重 松 洋 一 [群馬工業高等専門学校 教授]  
会 計 幹 事 : 成 川 輝 真 [埼玉大学 准教授]  
中 沢 信 明 [群馬大学 准教授]  
監 事 : 渡 辺 昌 俊 [(株)日立製作所 主管研究員]  
南 部 俊 和 [日産自動車(株) 主管研究員]

## 〔ブロック長〕

東 京 : 岡 本 秀 伸 [(株)荏原製作所 グループ長]  
神 奈 川 : 澤 田 達 男 [慶應義塾大学 教授]  
埼 玉 : 荒 居 善 雄 [埼玉大学 教授]  
千 葉 : 森 田 昇 [千葉大学 教授]  
茨 城 : 芦 田 極 [産業技術総合研究所 研究グループ長]  
栃 木 : 桜 井 康 雄 [足利工業大学 教授]  
群 馬 : 志 賀 聖 一 [群馬大学 教授]  
山 梨 : 伊 藤 安 海 [山梨大学 准教授]

**日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック  
2014/2015年度(第21/22期)中間事業報告書**

〔 自:2014年11月 1日 至:2015年10月31日 〕

開催年月日	会議・行事名	形態※	会場	内容(行事の場合は講演テーマ・講演数)	参加者数
2014/11/28	第5回幹事会		株式会社東芝 川崎東芝ビル	第21期行事報告・企画, 中間収支決算, 第22期	23
2014/11/28	第2回運営会		株式会社東芝 川崎東芝ビル	第21期行事報告・企画, ブロック表彰, 中間収支	15
2014/11/28	第21期総会		株式会社東芝 川崎東芝ビル	第21期行事報告・企画, ブロック表彰	55
2014/11/28	第25回産官学交流会	主催	株式会社東芝 川崎東芝ビル	「『未来』へのものづくりを, 神奈川から」講演4件	55
2014/12/11	第6回幹事会		イースタン技研株式会社 湘南工場	第21期行事報告・企画	15
2014/12/11	企業見学会	主催	イースタン技研株式会社 湘南工場	イースタン技研株式会社見学会	43
2015/3/12	第22期・第1回幹事会		神奈川県産業技術センター	名簿確認, 役割分担, 昨年度事業報告	14
2015/5/26	第22期・第2回幹事会		神奈川県産業技術センター	事業進捗報告	17
2015/7/24	第22期・第3回幹事会		神奈川県産業技術センター	事業進捗報告	22
2015/7/24	第20回神奈川フォーラム	主催	神奈川県産業技術センター	「最先端の燃料電池技術と製品へ適用」講演数:7	63
2015/8/1	小中学生工作教室	主催	川崎市産業振興会館	スターリングエンジンの製作	36
2015/8/8	小中学生工作教室	主催	関東学院大学	スターリングエンジンの製作	28
2015/8/19	小中高生のための見学会	主催	大宮総合車両センター	JR東日本 大宮総合車両センター見学と鉄道博物館	49
2015/9/4	コマツ湘南工場見学および 女性技術者との懇談会	主催	小松製作所湘南工場	建設機械メーカー・コマツの湘南工場見学・懇談会	20
2015/9/9	夏期学生研修会・企業見学会	主催	日本発条株式会社	日本発条株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会	26
2015/10/8	第22期・第4回幹事会		神奈川県産業技術センター	事業実施報告, 事業進捗報告	17
<b>2015.9.1~2016.2.29 予定</b>					
2015/11/20	第22期・第5回幹事会		IHI(横浜)	事業進捗報告	
2015/11/20	第22期・第1回運営会		IHI(横浜)	事業報告/意見交換	
2015/11/20	第22期神奈川ブロック総会		IHI(横浜)	事業進捗報告	
2015/11/20	第26回神奈川産官学交流会	主催	IHI(横浜)	「イノベーション・エコシステムの提言を, 神奈川から」	
2015/12/9	企業見学会	主催	三菱重工相模原製作所	三菱重工相模原製作所 見学	
2015/12	第22期・第6回幹事会		未定		
2016/3	第23期・第1回幹事会		未定		

※形態: 主催、共催、協賛、協力、後援など

2014 年度神奈川ブロック総会・第 25 回神奈川県産官学交流会  
『未来』へのものづくりを、神奈川から

【企 画】 (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック

【開 催 日】 2014 年 11 月 28 日 (金)

【時 間】 13.00~18.30

【会 場】 スマートコミュニティセンター  
(ラゾーナ川崎東芝ビル) 15F1502 会議室  
(川崎市幸区堀川町 72-34)

[http://www.toshiba.co.jp/contact/office\\_j.htm#KAWASAKI](http://www.toshiba.co.jp/contact/office_j.htm#KAWASAKI)

受付： 入館口 (3F) に専用受付を設置致します。

12.15 より受付を開始致します。

【趣 旨】 安全・安心・快適・便利で豊かな社会と暮らしを更に発展させ、新しい技術で新しい未来を実現する神奈川のものづくりをテーマに、『未来』へのものづくりを、神奈川から」と題して産学官から最新の動向についてご講演頂き、未来に向けて今やるべきものづくり、未来に役立つものづくりを議論する機会を設けました。また、本年 1 月にリニューアルオープンした東芝未来科学館の見学会を企画しました。尚、この行事に先立ちまして、神奈川ブロックの本年度総会を開催致します。総会にも是非ご参加頂き、今後の運営に付きまして忌憚のないご意見を頂戴できれば幸甚です。

【プログラム】

<第一部> 神奈川ブロック総会 13.00-13.20

<第二部> 産官学交流会 13.20-16.45

(1) 挨拶 13.20~13.30

秋葉 敏克

((株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー室長)

(2) 講演会 13.30~15.30 (講演 25 分, 質疑 5 分)

① 「さがみロボット産業特区におけるロボット研究会の取組みの紹介」

宮澤 以鋼

(神奈川県産業技術センター 企画部研究開発連携室長)

- ②「タイムアクシスデザインの時代 ―世界一やさしい国のモノ・コトづくり (仮)」

松岡 由幸

(慶応義塾大学理工学部機械工学科教授)

- ③「未来の自動運転技術と日産自動車の取り組み」

安藤 敏之

(日産自動車(株) 総合研究所(アライアンス第二部門) モビリティ・サービス研究所 シニアリサーチエンジニア)

- ④「ヘルスケアを支える機械技術と東芝の取り組み (仮)」

古賀 章浩

((株) 東芝 ヘルスケア社 技術管理部 グループ長)

(3) 施設見学 15.45～16.45

「東芝未来科学館」

スマートコミュニティセンター (ラゾーナ川崎東芝ビル) 2F

<http://toshiba-mirai-kagakukan.jp/>

<第三部> 神奈川ブロック表彰式・懇親会 17.00～18.30

【定 員】 70名

【参加登録費】 一般 4000円 学生 1000円

【申込方法】 件名を「2014 神奈川ブロック産官学交流会」とし、氏名、所属、会員資格、連絡先を記入し、11月21日(金)までに、メール(kanagawa@jsme.or.jp)にてお申し込み下さい。

【問合せ先】 大貫雅和 (関東学院大学)  
E-mail : kanagawa@jsme.or.jp

以 上

**2014年度神奈川ブロック総会**  
**第25回神奈川県産官学交流会 『未来』へのものづくりを、神奈川から』**  
**実施報告書**

- 【企 画】 (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
- 【開 催 日】 2014年11月28日(金)
- 【時 間】 13.00～18.30
- 【会 場】 スマートコミュニティセンター(ラゾーナ川崎東芝ビル)15F1502会議室
- 【趣 旨】 安全・安心・快適・便利で豊かな社会と暮らしを更に発展させ、新しい技術で新しい未来を実現する神奈川のものづくりをテーマに、『未来』へのものづくりを、神奈川から』と題して産学官から最新の動向についてご講演頂き、未来に向けて今やるべきものづくり、未来に役立つものづくりを議論する機会を設けました。また、本年1月にリニューアルオープンした東芝未来科学館の見学会を企画しました。尚、この行事に先立ちまして、神奈川ブロックの本年度総会を開催致します。総会にも是非ご参加頂き、今後の運営に付きまして忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

【プログラム】

<第一部>神奈川ブロック総会 13.00-13.20

<第二部>産官学交流会 13.20-16.45

(1) 挨拶 13.20～13.30

秋葉 敏克((株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー室長)

(2) 講演会 13.30～15.30(講演25分, 質疑5分)

①「さがみロボット産業特区におけるロボット研究会の取組みの紹介」

宮澤 以鋼(神奈川県産業技術センター 企画部研究開発連携室長)

②「タイムアクシスデザインの時代 ー世界一やさしい国のモノ・コトづくり」

松岡 由幸(慶応義塾大学理工学部機械工学科教授)

③「未来の自動運転技術と日産自動車の取り組み」

安藤 敏之(日産自動車(株)総合研究所(アライアンス第二部門)

モビリティ・サービス研究所 シニアリサーチエンジニア)

④「ヘルスケアを支える機械技術と東芝の取り組み」

古賀 章浩((株)東芝 ヘルスケア社 技術管理部 グループ長)

(3) 施設見学 15.45～16.45

「東芝未来科学館」

<第三部> 神奈川ブロック表彰式・懇親会 17.00～18.30

【参加者】

一般	24 人
受賞関係者	15 人
委員（受賞者除く）	16 人
合計	55 人

【決算報告】

(1) 支出

・通信・郵送費 切手代（講演依頼・招待状）	3,088 円
郵送費（年次総集残部・賞状）	2,552 円
	小計 5,640 円
・飲食代 お弁当・お茶代（お手伝い用）	8,010 円
飲物代（講演用）	12,500 円
懇親会費	165,000 円
	小計 185,510 円
・講演料（謝礼・交通費） 謝礼（@10,023 円（所得税含む）×3 名）	30,069 円
交通費（@1,000 円×3 名）	3,000 円
振込手数料	216 円
	小計 33,285 円
・印刷代 年次総集印刷代	小計 84,758 円
	総計 309,193 円

(2) 収入

・参加費 一般（@4,000 円×32 名）	総計 128,000 円
---------------------------	--------------

(3) 神奈川ブロック補助金

128,000 円 - 309,193 円 = 補助金	補助金 181,193 円
-----------------------------	---------------

以 上



## 2014年度 神奈川ブロック 企業見学会 「ものづくりを支える神奈川の中小企業」

【企画】 (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック

【開催日】 2014年12月11日(木)

【時間】 14.00～17.00(交流会:17.05～18.00)

【会場】 イースタン技研株式会社  
本社工場(神奈川県大和市福田6-9-21)  
湘南工場(神奈川県大和市上和田2666-2)  
<http://www.eastern-tech.co.jp/>

【内容】 イースタン技研(株)は、1970年に設立された従業員約100名の会社で、複合技術をコンセプトに、各種精密機械加工・放電加工の高度技術を駆使し、各種精密加工部品をもとに、プレス金型、細穴放電加工機、放電周辺機器をはじめ、メカトロ専用機械の設計・制御から製作までを一貫して行っています。現在はその卓越した精密加工技術を求める国内外の6,500を超える会社とお取引をされています。  
今回は本社工場と湘南工場の2か所を見学するとともに、イースタン技研(株)からご講演をいただきます。また、見学会終了後には交流会(希望者のみ参加、会費制、軽食付)も開催いたしますので、イースタン技研(株)の高度な技術を活かして課題を解決したい方々には、より踏み込んだ協議の場として活用していただければと存じます。

### 【スケジュール】

14.00	湘南工場に集合(小田急江ノ島線「桜ヶ丘」より徒歩約12分)	
14.05～14.40	ブロック長挨拶・会社紹介・講演	
14.40～14.45	班分け(A班、B班)	
(A班)		(B班)
14.45～15.00	本社工場へ移動(バス)	14.45～15.30 湘南工場見学
15.00～15.45	本社工場見学	15.30～15.45 本社工場へ移動(バス)
15.45～16.00	湘南工場へ戻る(バス)	15.45～16.30 本社工場見学
16.00～16.45	湘南工場見学	16.30～16.45 湘南工場へ戻る(バス)

(A 班・B 班合流)

16.45～17.00 質疑応答

17.00 湘南工場にて解散（交流会参加者は残留）

17.05～18.00 交流会（希望者のみ、会費制、軽食付、湘南工場内）

18.00 交流会参加者解散

【定 員】 40 名（先着順とし、定員になり次第締め切らせて戴きます。）

【参加費】 無料

ただし、交流会参加者は 1000 円（当日、現金にてお支払ください。）

【申込方法】 「神奈川ブロック企業見学会」と題記し、①氏名（フリガナ）、②住所、③電話番号、④E-mail アドレス、⑤所属の企業、団体、大学名および部署名、学科名、学年等、⑥交流会への参加の有無、を明記の上、12 月 8 日（月）までに E-mail (kanagawa@jsme.or.jp) にてお申し込み願います。

【問合せ先】 ネポン株式会社 野々下（E-mail : nonoshita@nepon.co.jp）

【ご 注 意】 (1) 同業種企業(タングステン合金製造業、電気接点製造業等)の方の参加はご遠慮願います。

(2) 見学会における写真撮影、喫煙はご遠慮願います。

以 上

2014年度 神奈川ブロック 企業見学会  
「ものづくりを支える神奈川の中小企業」  
実施報告書

【企 画】 (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック

【開 催 日】 2014年12月11日(木)

【時 間】 14.00～17.00(交流会:17.05～18.00)

【会 場】 イースタン技研株式会社  
本社工場(神奈川県大和市福田6-9-21)  
湘南工場(神奈川県大和市上和田2666-2)

<http://www.eastern-tech.co.jp/>

【内 容】 イースタン技研(株)は、1970年に設立された従業員約100名の会社で、複合技術をコンセプトに、各種精密機械加工・放電加工の高度技術を駆使し、各種精密加工部品をもとに、プレス金型、細穴放電加工機、放電周辺機器をはじめ、メカトロ専用機械の設計・制御から製作までを一貫して行っています。現在はその卓越した精密加工技術を求める国内外の6,500を超える会社とお取引をされています。  
今回は本社工場と湘南工場の2か所を見学するとともに、イースタン技研(株)からご講演をいただきます。また、見学会終了後には交流会(希望者のみ参加、会費制、軽食付)も開催いたしますので、イースタン技研(株)の高度な技術を活かして課題を解決したい方々には、より踏み込んだ協議の場として活用していただければと存じます。

【スケジュール】

14.00 湘南工場に集合(小田急江ノ島線「桜ヶ丘」より徒歩約12分)

14.05～14.40 ブロック長挨拶・会社紹介・講演

14.40～14.45 班分け(A班、B班)

(A班)

(B班)

14.45～15.00 本社工場へ移動(バス) 14.45～15.30 湘南工場見学

15.00～15.45 本社工場見学 15.30～15.45 本社工場へ移動(バス)

15.45～16.00 湘南工場へ戻る(バス) 15.45～16.30 本社工場見学

16.00～16.45 湘南工場見学 16.30～16.45 湘南工場へ戻る(バス)

(A班・B班合流)

16.45～17.00 質疑応答

17.00 湘南工場にて解散(交流会参加者は残留)

17.05～18.00 交流会(希望者のみ、会費制、軽食付、湘南工場内)

18.00 交流会参加者解散

## 【参加者数】

### ・見学会参加者

一般	27名
委員	16名
合計	43名

### ・交流会参加者

一般	12名
委員	14名
合計	26名

## 【決算報告】

### (1) 支出

・手土産代	小計 2,160円
・交流会費 飲食代	小計 26,000円
・交通費 会社間移動バス代	37,800円
振込手数料	432円
	小計 38,232円
・委員交通費 交通費 (@1,000円×1名)	小計 1,000円
	総計 67,392円

### (2) 収入

・交流会参加費 一般 (@1,000円×26名)	総計 26,000円
-----------------------------	------------

### (3) 神奈川ブロック補助金

67,392円 - 26,000円 = 補助金	補助金 41,392円
-------------------------	-------------

## 【当日の状況】

当日は雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でしたが、イースタン技研(株)様の周到なご準備のおかげで、予定通り滞りなく見学会を実施することができました。参加者の方々は、見学会で訪問することの多い重工系の大工場とは違った、得意技術に特化した中小企業工場に興味深く見学されている様子でした。見学中や質疑応答の時間には参加者から多くの質問があり、充実した見学会でした。見学会後の交流会にも、43名中26名と過半数の方が参加していただき、イースタン技研(株)の方々とは活発な議論がなされました。

見学会開催を快くお引き受けくださったイースタン技研(株)様には心より感謝いたします。

以上



辻森ブロック長挨拶



イースタン技研(株)・河西社長挨拶



現場説明



感謝状授与



参加者一同



交流会



イースタン技研(株)の皆様

## 第 20 回神奈川フォーラム

### 「最先端の燃料電池技術と製品への適用」

【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック  
(共催) 神奈川県産業技術センター (予定)  
(後援) 神奈川 R&D 推進協議会

【開催日】 2015 年 7 月 24 日 (金)

【時間】 13.30～17.00

【会場】 神奈川県産業技術センター  
(海老名市下今泉 705-1)  
<http://www.kanagawa-iri.go.jp/aboutcenter/center-access.html>

【趣旨】 世界的なエネルギーの需要増大に伴い、二酸化炭素濃度の上昇に伴う地球温暖化の進展やエネルギー資源が枯渇に向け進むなか、水素をエネルギー源とする次世代のエネルギーシステム「燃料電池」の期待が高まっている。神奈川フォーラムでは、環境に優しい燃料電池の最先端技術と製品へ適用した事例など、水素エネルギーの取り組み、研究開発動向や周辺技術について理解を深める。

【プログラム】 次項による。

【定員】 70 名

【参加登録費】 無料

【申込方法】 7 月 17 日(金)までにメール ([kanagawa@jsme.or.jp](mailto:kanagawa@jsme.or.jp)) にて、所属団体名、氏名、連絡先をお送り下さい。参加の可否を 7 月 21 日までにメールで連絡致します。期日まで連絡が届かなかった場合は下記問合せ先までお問い合わせ下さい。

【問合せ先】 和田 晃 (富士電機株式会社)  
E-mail : [wada-akira@fujielectric.com](mailto:wada-akira@fujielectric.com)

## 第 20 回神奈川フォーラム

### 「最先端の燃料電池技術と製品への適用」

### 講演プログラム

7月24日(金) 13:30~17:00			
ご挨拶 神奈川ブロック長 澤田 達男 (慶應義塾大学 理工学部機械工学科 教授)			
No	時間	講演テーマ	大学、会社名及び講演者
1	13:35~ 14:00	神奈川県における水素エネルギーの取り組み	神奈川県 産業労働局 エネルギー部 スマートエネルギー課 課長 村上 剛史氏
2	14:00~ 14:25	SOFC-MGT ハイブリッド機の実用化に向けた取り組みについて	三菱日立パワーシステムズ(株)燃 料電池事業室 戦略企画グループ グループ長 岸沢 浩氏
3	14:25~ 14:50	業務用燃料電池の市場展開	富士電機(株) 新エネプラント事業 部 新エネルギー技術部 主席 吉岡 浩氏
*** 休憩 (14:50~15:10) ***			
4	15:10~ 15:25	神奈川県産業技術センターにおける燃料電池の取り組み	神奈川県産業技術センター 化学技術部 主任研究員 国松 昌幸氏
5	15:25~ 15:50	燃料電池の最大効率点検出 (MEPD) 法に関する研究	神奈川工科大学 電気電子情報工学科 教授 板子 一隆氏
6	15:50~ 16:15	日産自動車における燃料電池自動車の開発	日産自動車(株) 総合研究所 EV シ ステム研究所 主任研究員 高市 哲氏
7	16:15~ 16:35	先端研究を加速させるニイガタの取り組み	ニイガタ(株) 常務取締役 牧野 秀介氏
総合討論 25分 (16:35~17:00) 司会: 神奈川大学 教授 原村 嘉彦			

以上

事業報告書  
日本機械学会関東支部神奈川ブロック  
第20回神奈川フォーラム  
「最先端の燃料電池技術と製品への適用」

1. 主催・共催・後援 主催 一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロック  
共催 神奈川県産業技術センター  
後援 神奈川 R&D 推進協議会
2. 開催日 2015年7月24日(金) 13:30~17:00
3. 会場 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市下今泉 705-1)
4. 内容 エネルギーの需要増大に伴い、二酸化炭素濃度の上昇に伴う温暖化の進展やエネルギー資源が枯渇に向け進むなか、水素をエネルギー源とする次世代エネルギーシステム「燃料電池」の期待が高まっている。燃料電池の最先端技術と製品へ適用した事例、水素エネルギーの取り組み、研究開発動向や周辺技術について理解を深める。
5. プログラム
- (1) 神奈川県における水素エネルギーの取り組み  
村上 剛史(神奈川県産業労働局エネルギー部スマートエネルギー課 課長)
  - (2) 業務用燃料電池の市場展開  
吉岡 浩(富士電機㈱ 新エネプラント事業部 新エネルギー技術部 主席)
  - (3) SOFC-MGT ハイブリッド機の実用化に向けた取り組みについて  
岸沢 浩(三菱日立パワーシステムズ㈱ 燃料電池事業室 グループ長)
  - (4) 神奈川県産業技術センターにおける燃料電池の取り組み  
国松 昌幸(神奈川県産業技術センター 化学技術部 主任研究員)
  - (5) 燃料電池の最大効率点検出(MEPD)法に関する研究  
板子 一隆(神奈川工科大学 電気電子情報工学科 教授)
  - (6) 日産自動車における燃料電池自動車の開発  
高市 哲(日産自動車㈱ 総合研究所 EVシステム研究所 主任研究員)
  - (7) 先端研究を加速させるニイガタの取り組み  
牧野 秀介(ニイガタ㈱ 常務取締役)
- 総合討論
6. 参加者数 63名
7. 会計報告

通信・印刷費	1,449 円
アルバイト費	8,000 円
講演料(交通費含む)	40,000 円
講演料源泉徴収	4,548 円
振込手数料(源泉徴収)	432 円
計	54,429 円

8. 総括 産学官各々の方から燃料電池や水素エネルギーの取り組みが講演された。総合討論では、質疑応答がなされ、各参加者には有意義な意見交換の場となった。

以上



(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック  
「小中学生工作教室」  
～スターリングエンジンの製作～ (第1回)

- 【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック  
(共催) (公財)川崎市産業振興財団 (予定)
- 【開催日】 2015年8月1日(土)
- 【会場】 川崎市産業振興会館  
(川崎市幸区堀川町66-20)  
<http://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/access.html>
- 【趣旨】 機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくため、小中学生工作教室を企画いたしました。製作する模型エンジンは、JAXAで開発され、お湯を入れたコップの上でも動作します。是非、夏休みの自由研究に活用下さい。なお、小学生の参加の場合には保護者の付添いをお願いします。
- 【時間】 午前の部 10.30～12.00, 午後の部 13.30～15.00
- 【定員】 各部20名(小学3年生～中学生)  
(申込み多数の場合は抽選になります。抽選結果は、7月22日(水)までに連絡いたします。)
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 7月18日(土)までに、下記のURLにアクセスし、申込フォームに必要事項を記載してお申込み下さい。  
<http://kflab.jp/kousaku/entry-0.html>  
\*参加申込みをされた方には必ず申込み受理の自動返信メールが届きます。申込みから3日以内に自動返信がない場合には、お手数ですが、深淵(fukagata@mech.keio.ac.jp)まで確認メールをご送付下さい。
- 【問合せ先】 深淵康二(慶應義塾大学理工学部機械工学科)  
E-mail : [fukagata@mech.keio.ac.jp](mailto:fukagata@mech.keio.ac.jp)

以上

(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック  
「小中学生工作教室」  
～スターリングエンジンの製作～ (第2回)

- 【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
- 【開催日】 2015年8月8日(土)
- 【会場】 関東学院大学 金沢八景キャンパス  
(横浜市金沢区六浦東1-50-1)  
<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/basic/about/outline/campus/facilities.html>
- 【趣旨】 機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくため、小中学生工作教室を企画いたしました。製作する模型エンジンは、JAXAで開発され、お湯を入れたコップの上でも動作します。是非、夏休みの自由研究に活用下さい。なお、小学生の参加の場合には保護者の付添いをお願いします。
- 【時間】 午前の部 10.30～12.00, 午後の部 13.30～15.00
- 【定員】 各部20名(小学3年生～中学生)  
(申込み多数の場合は抽選になります。抽選結果は、7月29日(水)までに連絡いたします。)
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 7月25日(土)までに、下記のURLにアクセスし、申込フォームに必要事項を記載してお申込み下さい。  
<http://kflab.jp/kousaku/entry-0.html>  
\*参加申込みをされた方には必ず申込み受理の自動返信メールが届きます。申込みから3日以内に自動返信がない場合には、お手数ですが、深淵(fukagata@mech.keio.ac.jp)まで確認メールをご送付下さい。
- 【問合せ先】 深淵康二(慶應義塾大学理工学部機械工学科)  
E-mail : fukagata@mech.keio.ac.jp

以上

## 事業報告書

日本機械学会関東支部神奈川ブロック「小中学生工作教室」

～スターリングエンジンの製作～

企 画	関東支部神奈川ブロック
開催日 1	2015 年 8 月 1 日 (土)
会 場 1	川崎市産業振興会館 (川崎市幸区堀川町 66-20)
開催日 2	2015 年 8 月 8 日 (土)
会 場 2	関東学院大学金沢八景キャンパス (横浜市金沢区六浦東 1-50-1)

機械のおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わっていただくため、小中学生工作教室を企画いたしました。製作する模型エンジンは、JAXA で開発され、お湯を入れたコップの上でも動作します。是非、夏休みの自由研究に活用ください。なお、小学生の参加の場合には保護者の付添いをお願いします。

1) 開催日時・会場：上記参照 (小学 3 年生以上対象)

両会場とも 第 1 回 10.30～12.00, 第 2 回 13.30～15.00

2) 定員：両会場・各回 20 名 (申込み多数の場合は抽選になります)

3) 申込方法

下記の URL にアクセスし、申込フォームに必要事項を記載してお申込みください。

<http://kflab.jp/kousaku/entry-0.html>

\*参加申し込みをされた方には数日中に必ず申込み受理の返信をいたします。返信がない場合には、お手数ですが、もう一度確認メールを送付ください。

4) 参加費 無料

### 参加人数

第 1 回	36 人 (子供 21 人、保護者 15 人)
第 2 回	28 人 (16 子供人、12 保護者人)

### 会計報告

教材購入費 (模型スターリングエンジン×100 個, 振込手数料込)	110,648 円
傷害保険	3,800 円
その他 (アルバイト, 関係者昼食代, 雑費)	46,718 円
* 第 1 回 昼食代 9,000 円, 宅急便代 4,784 円, アルバイト代 20,000 円	
* 第 2 回 : 昼食代 7,200 円, 宅急便代 2,440 円	
* エコバッグ輸送費, 封筒, 交通費 3,294 円	
計 :	<u>161,166</u> 円

日本機械学会「機械の日」イベント  
神奈川ブロック・環境工学部門 共同企画  
「小中高生のための見学会」  
＜JR東日本 大宮総合車両センター見学と鉄道博物館＞

【企画】 共同企画 (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック  
(一社)日本機械学会 環境工学部門

【開催日】 2015年8月19日(水)

【時間】 9.30～18.00

【会場】 東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター  
鉄道博物館 (<http://www.railway-museum.jp/>)

【主旨】 神奈川ブロックでは、小中高生の皆様に機械やエンジニアリングに興味を持っていただくことを目的に「小中高生のための見学会」を機械の日に合わせて毎年開催しています。今年には北陸新幹線が金沢まで開通し、来年には函館まで開通するなど鉄道に関する明るい話題が続いています。また、2014年度の学会賞(技術)に「E5系・E6系新幹線電車の車外騒音低減技術」が輝きました。そこで今年は環境工学部門と共同で、首都圏の安全安定輸送を支える在来線鉄道車両のメンテナンス工場と鉄道博物館の見学を企画しました。夏休みの1日を普段はできない見学でお楽しみ下さい。奮ってのご参加をお待ちしております。なお、小・中学生には保護者の方が必ず同伴して下さい。また、工場内および滑りやすい場所を歩きますので、移動しやすい服装ならびに履物でご参加下さい。

【スケジュール】 09.30 大宮総合車両センター正門 集合  
10.00-10.30 車両センター概要説明  
10.30-11.30 工場見学  
11.30-12.00 質疑応答  
12.00-12.30 鉄道博物館へ移動  
12.30-18.00 鉄道博物館の自由見学・現地自由解散  
(館内で各自昼食)  
14.00-14.10 模型鉄道ジオラマの解説ショーを団体観覧

【集合場所】 大宮総合車両センター正門(大宮駅から徒歩10分程度)

【集合時刻】 9時30分

【参加費】 小・中・高校生 100円（ジュニア会友は無料）、  
保護者 300円（本会会員は無料）

【定員】 50名（保護者の方を含みます）※先着順・ジュニア会友優先枠有

【申込方法】 電子メールにて、7月31日（金）までにお申し込み下さい。  
件名を「小中高生のための見学会参加申込」とし、以下の必要事項を記入して [kanagawa@jsme.or.jp](mailto:kanagawa@jsme.or.jp) までお送り下さい。  
①氏名、②性別、③学校名、④学年、⑤連絡先（電話、E-mail、FAX）、  
⑥日本機械学会のジュニア会友資格の有無、⑦参加される保護者氏名と参加者との続柄、日本機械学会会員資格の有無。  
\*参加申し込みされた方には1週間以内に申し込み受理のメールを送信いたします。返信メールが届かない場合は、お手数ですが、再度確認のメールをお送り下さい。

【問合せ先】 川島 豪（神奈川工科大学 工学部 機械工学科）  
E-mail : [kawashima@eng.kanagawa-it.ac.jp](mailto:kawashima@eng.kanagawa-it.ac.jp), 電話 : (046)291-3122

以上

**小中高生のための見学会**  
**「JR東日本 大宮総合車両センター見学と鉄道博物館」**  
**関東支部 神奈川ブロック, 環境工学部門 共催**  
**実施報告書**

- 1 実施日 2015年8月19日(水)
- 2 実施場所 JR東日本 大宮総合車両センター見学、および鉄道博物館
- 3 参加者数 合計45名(大人19名, 高校生1名, 中学生1名, 小学生23名, 幼児1名)  
 引率: 栗田氏(JR東日本), 鈴木前環境工学部門ブロック長, 石上幹事, 川島 の計4名  
 総計 49人

- 4 実施概要
- 9:30 大宮総合車両センター正門 集合  
 10:00 大宮総合車両センター概要説明  
 10:30 **大宮総合車両センター見学**  
 11:30 質疑応答  
 11:50 鉄道博物館に移動  
 12:10 鉄道博物館入館  
 14:00 模型鉄道ジオラマ団体鑑賞  
 現地解散

4 収支報告

(1) 支出

・鉄道博物館入館料	大人	@800円×21人	16,800円
	小・中・高!	@400円×25人	10,000円
	幼児	@100円×1人	100円
		小計	26,900円
・傷害保険代			
費用	1,900円		
		小計	1,900円
・委員交通費			
内訳	1人		
費用	実費		
		小計	2000円
		総計	30,800円

(2) 参加費

内訳	大人	@300円×8人	2,400円
	小・中・高!	@100円×18人	1,800円
		総計	4,200円

(3) 機械学会よりの補助金

内訳	30,800円 - 4,200円 = 補助金(予算:50,000円)	
	補助金	26,600円

5 あとがき

今年には北陸新幹線が金沢まで開通し、来年には東北新幹線が函館まで開通するなど鉄道に関する明るい話題が続いている。また、2014年度の学会賞(技術)に「E5系・E6系新幹線電車の車外騒音低減技術」が受賞した。そこで環境工学部門との共催で、首都圏の安全輸送を支える在来線鉄道車両のメンテナンス工場と鉄道博物館の見学会を企画した。子供に人気のある鉄道関連の見学会であることから、関東支部会員およびジュニア会友向けにインフォメーションメールを送信することで締切日を待たずに申し込み者が定員に達した。しかしお盆明けの日程のため、3組の事前キャンセルと1組の当日キャンセルがあった。学校登校日の関係などから7月中旬に開催したほうがキャンセルが少ないようである。なお、ジュニア会友は25名中7名であり、平日にもかかわらず学会員のお父様が引率する家族が多く見受けられた。このような機会をとおしてモノづくりに興味を持った小中高生が将来の日本のモノづくりを支える技術者に育ててくれることを期待したい。見学場所が埼玉県のため埼玉ブロックにご迷惑をかけた。他県で開催する場合は事前に該当ブロックに相談することを申し送る。環境工学部門の栗田氏(JR東日本)に工場見学を取りまとめていただき、鈴木前部門長に引率をお手伝いいただきました。両名に感謝申し上げます。石上幹事にも短期間に多数の申し込みを取りまとめていただきました。お礼申し上げますと共に、申し込みの対応方法を改善していく必要を感じた。

以上



## コマツ湘南工場見学および女性技術者との懇談会

・開催日 2015年09月04日

・企画 関東支部  
LAJ

・趣旨・内容

### 【企画】

関東支部神奈川ブロック，LAJ（共同企画）

### 【開催日】

2015年9月4日（金）13:00～16:30

### 【趣 旨】

女性エンジニア・研究者&理工系女子学生（機械・電気電子・情報・化学・材料等）のみなさん！

皆さんと同じように頑張っている仲間がすぐそばにいます。日頃思っていることなど語り合しましょう。建設機械メーカ・コマツの湘南工場を見学した後，ティータイムを楽しみながら，本音トークに花を咲かせ，楽しいひと時を過ごしませんか？皆様のご参加をお待ちしています！

### 【申込締切】

2015年08月21日（金）

### 【参加資格】

機械メーカに興味のある女子学生，若手女性技術者・研究者

### 【定 員】

40名（先着順）

・会場 コマツ（小松製作所）湘南工場（神奈川県平塚市四之宮 3-25-1）

### 【集合時間／場所】

12:20 JR平塚駅 東口改札



・参加登録費 無料

申込先 下記の URL にアクセスし、申込フォームに必要事項を記載してお申込み下さい。

<http://kflab.jp/laj-kanagawa/entry-0.html>

\*参加申込みをされた方には必ず申込み受理の自動返信メールが届きます。

申込みから3日以内に自動返信がない場合には、お手数ですが、申込ページ担当の深潟（[fukagata@mech.keio.ac.jp](mailto:fukagata@mech.keio.ac.jp)）まで確認メールをご送付下さい。

問合せ先 コマツ 出浦 淑枝, 鳥山 唯

E-mail : [yoshie\\_ideura@komatsu.co.jp](mailto:yoshie_ideura@komatsu.co.jp)

E-mail : [yui\\_toriyama@komatsu.co.jp](mailto:yui_toriyama@komatsu.co.jp)

申込締切日 2015年08月21日

2015年9月11日

イベント事務局

**日本機械学会神奈川ブロック/LAJ委員会 共同企画**  
**『コマツ湘南工場見学および女性技術者との懇談会』報告書**

標記の件、理系女子学生や女性技術者・研究者の活躍を支援する取組みとして実施致しました「日本機械学会神奈川ブロック」および「LAJ委員会」の共同企画イベントについて、下記のとおりご報告致します。

記

**1. イベント概要**

(1) 開催日程 : 9月4日(金) 13時00分～16時30分(開場12時45分)

(2) 開催会場 : コマツ湘南工場 2階 22AB会議室

<http://www.komatsu.co.jp/CompanyInfo/profile/directory/map09.html>

(3) 参加者 : 計20名

理系学生 : 7名

社会人 : 13名

(4) 企画 : 日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック  
LAJ委員会 <http://www.jsme.or.jp/laj/>

共同企画

(5) 趣旨 : 会社の枠を超えて技術系職の魅力や働き方、キャリア形成、悩み等、情報を共有し社内外のネットワーク拡充や交流を深める。

(以下参加者への案内文)

女性エンジニア・研究者&理工系女子学生のみなさん!

皆さんと同じように頑張っている仲間がすぐそばにいます。

日頃思っていることなどを語り合しましょう。

建設機械メーカー・コマツの湘南工場を見学した後、ティータイムを楽しみながら、本音トークに花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしませんか?

(6) スケジュール : 12時45分～開場

13時00分～14時30分 開会挨拶、工場見学

14時30分～16時20分 懇談会

16時20分～16時30分 閉会挨拶、解散

## 2. 懇談会内容

1回目のみ参加者より希望があったテーマ内容、2回目以降は話したいことを自由に話す形式にて3テーブルにわかれて、懇談（25分×3回）を実施。

下記内容以外にも、職場や仕事における女性ならではの障壁や女性社員同士の関係等、様々な話題で盛り上がっていた。

1回目懇談テーマ	
テーブルA	ワークライフバランスについて (仕事と生活の調和、家庭・育児、夫の家族との付き合い方、会社制度や制度の利用方法など)
テーブルB	キャリア形成について (ロールモデルのあり/なし、成功事例、不安・不満に思っていること、相談相手など)
テーブルC	イキイキと働くための秘訣について (仕事のノウハウ、ストレス解消法、モチベーションを保つ方法、余暇の過ごし方、職場の雰囲気(飲み会)など)



## 3. 参加者の感想

### (1) 学生

- ・実際に働いている女性と話ができる貴重な機会であった。
- ・懇談会のメンバーをチェンジして話せたら良かった。
- ・工場見学が出来て良かった。

### (2) 社会人

- ・多様な考え方や経験を聞くことができ、視野が広がった。
- ・他の働く女性と話すチャンスが少ないので有意義だった。
- ・社会人の女性エンジニアの先輩の話聞ける機会が少ないので、良かった。
- ・様々なキャリアの方と交流でき、楽しかった。
- ・コマツの製品や技術の説明をもう少し聞きたかった。
- ・休日開催のほうが参加しやすいかもしれないが、平日は工場見学が可能のため、どちらも良い面がある

## 4. 次回に向けての改善点・振返り意見

### (1) 懇談会について

- ・1回目はテーマが決められていたが、話の流れで雑談になった。
- ・学生・社外の参加者は3回とも同グループ、コマツ社員のみがグループを変更する形式にて実施したが、より多くの人と交流が持てるよう、毎回違う人と懇談で

きるグループ分けも検討すべきである。

- ・学生と社会人では話題が異なるので、学生グループ、社会人グループで懇談できる回を1回設定したほうが良い。
- ・時間（20分～25分×3回）や人数（各グループ6名程度）はちょうど良い。

(2) イベント内容について

- ・キャリアを積んでいる方の話を聞ける機会が少ないため、女性役員の話が聞ける講演会などがあると良い。

(3) 準備物について

- ・映像を投影する際は、スピーカーを準備すること。

以 上

2015年8月14日

日本機械学会関東支部・神奈川ブロック主催  
2015年度学生会企画

横浜国立大学 尾崎伸吾

「日本発条株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会」

企業における製造、研究開発の現場を知る機会をつくとともに、企業に在籍する機械系の若手技術者から学生に向けて話をさせていただきます。技術講演とともに、入社後の経験談、現在のお仕事の内容、それらを踏まえた機械系学生へのメッセージなど話をさせていただく予定です。また、神奈川ブロックの学生同士の交流と親睦を目的として懇親会を行います。

主催：日本機械学会関東支部神奈川ブロック

URL：<http://www.jsme.or.jp/kt/kanagawa/>

開催日：2015年9月9日（水）

会場：日本発条株式会社

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10（最寄駅：金沢シーサイドライン「市大医学部」駅）

スケジュール

第一部：

13:10 日本発条株式会社に集合（正門前）

13:15-13:45 日本発条株式会社の会社概要，見学概要

13:45-15:00 日本発条株式会社の工場見学

第二部：

15:15-15:45 日本発条株式会社 講演「ゴルフスイングとシャフトの関係」

伊藤 千紘 氏（研究開発本部）

15:50-16:20 日本発条株式会社 講演「コールドスプレー銅皮膜の諸特性におけるリン含有量の影響」

山内 雄一郎 氏（研究開発本部）

16:25-16:55 株式会社東芝 講演「東芝 風力発電事業の研究開発に携わって」

田中 翔一 氏（電力・社会システム技術開発センター）

17:00-17:30 富士電機株式会社 講演「空気冷却タービン発電機の固定子枠のコスト低減開発」

西山 秀史 氏（川崎工場 回転機部 開発設計課）

以上の講演会では、若手技術者と学生との質疑応答を含む。

18:00-20:00 若手技術者と学生の懇親会

場所：日本発条株式会社の社有施設（金沢シーサイドライン「海の公園南口」駅まで移動あり）

参加費：無料。懇親会には学生の皆さんは招待します。

参加定員：全参加者で最大30名（学生は20名程度）

企業関係者は第二部からの参加となります。15:00に正門前にお越しください。

問い合わせ：横浜国立大学 工学研究院 システムの創生部門 尾崎伸吾

Email: [s.ozaki.lab.ynu@gmail.com](mailto:s.ozaki.lab.ynu@gmail.com), Tel: 045-339-3881

2015年9月10日

日本機械学会関東支部・神奈川ブロック主催  
2015年度学生会企画 実施報告書

横浜国立大学 尾崎伸吾

日本発条株式会社のご協力の下、夏季学生研究会を滞りなく実施することができた。当日は、台風の影響により、開催ならびに参加キャンセルが危ぶまれたが、当初の予定通り学生17名、講師4、ブロック幹事4名、大学関係者1名の計26名が参加した。工場見学では、バネおよびシードの生産ラインを見学した。講演会では若手技術者から「入社後の経験談、現在のお仕事の内容、それらを踏まえた機械系学生へのメッセージ」など、バラエティに富んだ講演をしていただき、参加学生からは好評を博した。また、懇親会においては、学生、若手技術者、幹事が垣根を超えて交流し、参加して良かったとの声を多く聞くことができた。

なお、若手講演者の選出については、ブロック幹事の東芝 加幡様と富士電機 和田様のご協力をいただきました。ここに記して謝意を表します。

参加者：別紙一覧表の通り

参加費：無料

参加定員：全参加者で最大26名（学生は17名程度）

予算：講師謝礼・交通費（学会規定）（計 約¥15,000+交通費、一人当たりの謝礼5,000円）

懇親会補助として、48,000円（1人当たり¥2,000：講師3人、学生他17人、幹事4人）

手土産代：1,200円

総額6万5千円程度



記念撮影（日本発条受付にて）

## 第 22 期 神奈川ブロック表彰

### 【技術賞】

海内工業株式会社

理由：高い技術を板金のみならずメカ部品まで幅広く対応する対応力を持ち、製品製作にその技術力を展開している。

- ・板金加工で超精密 50 ミクロンの精度での加工技術
- ・難しい形状の製品・精度を要する製品への対応可能

また、機械学会のロボティクス・メカトロニクス部門にて開催している Robomech などの企業展示へ参画し、学会活動にも貢献している。また、富士ゼロックスの「ドラえもののひみつ道具」に参画し、技術の啓蒙活動に貢献している。

### 【学生貢献賞】

前田 佑太（関東学院大学）

2014 年度 関東学生会 神奈川ブロック幹事

吉田 航（青山学院大学）

2015 年度 関東学生会 神奈川ブロック幹事

### 【感謝状】

神奈川県産業技術センター（神奈川フォーラム協賛など）

公益財団法人川崎市産業振興財団（小中学生工作教室協賛など）

東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター（小中高見学会ご対応）

日本発条株式会社（学生会企画ご対応）

株式会社 IHI（ブロック総会、産官学交流会会場のご提供）

三菱重工業株式会社（企業見学会ご対応）

2014 年度 日本機械学会 神奈川ブロック

学業優良奨励賞

学 校 名	氏名	卒業式日程
神奈川県立川崎工科高等学校	山田 智裕	3月3日(火)
神奈川県立向の岡工業高等学校	都築 拓	3月6日(金)
神奈川県立神奈川工業高等学校	水野 寧々	3月2日(月)
	福田 誠	3月2日(月)
神奈川県立磯子工業高等学校	奥山 卓摩	3月3日(火)
神奈川県立商工高等学校	丹野 聖也	3月7日(土)
神奈川県立横須賀工業高等学校	杉本 悠河	3月2日(月)
神奈川県立藤沢工科高等学校	藤田 翔馬	3月1日(日)
神奈川県立神奈川総合産業高等学校	坊野 菜々海	3月19日(木)
	上坂 颯	3月6日(金)
神奈川県立平塚工科高等学校	高橋 幸利	3月1日(日)
神奈川県立小田原城北工業高等学校	高井 優平	3月3日(火)
	佐宗 育実	3月2日(月)
川崎市立川崎総合科学高等学校	服部 太亮	3月1日(日)
	高橋 賢太郎	3月1日(日)
私立横浜創学館高等学校	吉田 守志	3月1日(日)
私立三浦学苑高等学校	藤田 渡	3月1日(日)
神奈川県立海洋科学高等学校	佐藤 凌大	3月3日(火)
横須賀市立横須賀総合高等学校	深宮 裕斗	3月2日(月)
	後藤 海	3月2日(月)